

7月19日終業式の日には風向きが変わり、勝負の2学期を迎えた。8月22日が第2学期始業式である。始業式で私が話すために作成した原稿が次のものである。

今月は8月です。8月を英語で何と言いますか。August ですね。August はローマ皇帝アウグストゥスに由来します。では、8月の異名、異なった名称、日本での別の呼び方を知っていますか。葉月（はづき）と言います。カレンダーにはよく書いてありますが、普段はあまり聞きませんね。世の中でよく使うのは12月の別の呼び方だと思います。師走（しわす）と言います。

では、10月の別の呼び方は何と言うでしょう。神無月（かんなづき・かみなづき）と言います。なぜ10月は、神様が無い月と呼ぶのでしょうか。それは、10月になると、全国の神様がある所に集合してしまうため、神様がいなくなってしまうからです。年に1回、全国の神様が集まって会議を開き、話し合いをするわけです。神様が集合する場所、話し合いの会場が、島根県にある出雲大社というところなんです。ということは、全国的には10月は神無月ですが、神様が集まる出雲では何というのでしょうか。神在月（かみありづき）となります。

この夏休みに、西の方に行く用事があったので、以前からずっと行きたかった出雲大社にも行ってきました。そして、3年1組の石井さんから3年2組の結城君まで3年生37名の希望進路達成をお祈りしてきました。ですから、3年生は自分の進路実現に向けてさらに努力を重ねてください。

2学期から、2年生は梁川高校の顔となります。そのつもりで、一人一人目標を定めてがんばってください。1年生は、1学期に積み上げた望ましい生活習慣をさらに継続して、力を蓄えてください。

1年生、2年生、3年生全員の活躍を期待しています。

「葉月」「師走」「神無月」「出雲大社」「神在月」はA3の用紙に書いて提示した。3年生は、「3年1組の石井さんから3年2組の結城君まで3年生37名の希望進路達成をお祈りしてきました。」というところで、驚きの表情をしていた。

始業式というと、よく夏休みの生活を振り返るような話をする校長先生がいる。中には、1学期の終業式で「校長先生は1学期の始業式で3つのことを話しました。覚えていますか」というタイプの方がいる。覚えているわけがない。覚えていたら大したものである。大抵の校長先生は、「1学期の始業式ではこんな話をしました」と自分で振り返るようになる。

校長先生の話はむずかしい。しかし、工夫次第で生徒に何かを残すこともできる。風向きが変わると、いろいろな変化が起きる。私のことを「コーチャーセンセー」と呼ぶ生徒が出てきた。生徒の私に対する朝のあいさつの声が大きくなってきた。校長室掃除担当の3年2組の生徒が話しかけてくるようになった。「コーチャーセンセーの娘さん、3年生なの」と笑顔で話してくる。

4月に味わったような話しにくさはなくなった。その後も毎回、短く心に残るフレーズを考えて話すようにしている。決してうまくいっているわけではない。だが、生徒が梁川高校を卒業し、高校時代を振り返ったときに、校長の言葉の一つでも浮かんでくることをイメージして努力を重ねるつもりである。多少時間はかかったが、梁川高校の生徒たちに大切なことを教えてもらった。鍛えてもらった。105名の生徒たちに感謝である。